

2011年ポーランド議会選挙の結果

平成23年9月10日

在ポーランド大使館

- 9日、ポーランド議会選挙が行われ、下院において、与党「市民プラットフォーム」が第一党を維持。農民党(PSL)との連立政権が継続される見通し。民主化以降初の二期連続政権の誕生。トウスク首相の続投は確実。
- 最大野党「法と正義」(PiS)は、第2党となり、引き続き、最大野党としての影響力を堅持。カチンスキPiS党首の政治求心力も維持。
- 新党「パリコト運動」が躍進。民主左翼連合(SLD)は第五党となり凋落。ナピエラルスキ党首の引責問題に発展する可能性。
- 上院選挙(100議席)は、初の小選挙区制による選挙。POが63議席を獲得し勝利。

1. ポーランド下院選挙結果

| 政党名 | 得票率 | 2007年選挙との差 | 獲得議席数 | 2007年選挙との差 |
|----------------|-------|--------------|-------|------------|
| 市民プラットフォーム(PO) | 39.2% | (-2.3ポイント) | 207 | -2議席 |
| 「法と正義」(PiS) | 29.9% | (-2.2ポイント) | 157 | -9議席 |
| パリコト運動(RP) | 10% | | 40 | +40議席 |
| 農民党(PSL) | 8.4% | (-0.5ポイント) | 28 | +1議席 |
| 民主左翼連合(SLD) | 8.3% | 注1(-4.9ポイント) | 27 | -28議席 |
| ドイツ少数民族党(注2) | | 0 | 1 | 0議席 |

(投票率:48.92%)

(注1) 2007年、SLDは左派民主主義者(LiD)による政党間協力で議席を獲得、同得票率との差を算出。

(注2)ドイツ少数民族党は、少数民族法によって5%得票率の条項が適応されない。

2. ポーランド上院選挙結果

| 政党名 | 獲得議席数 | 2007年選挙との差 |
|----------------|-------|------------|
| 市民プラットフォーム(PO) | 63 | +3議席 |
| 「法と正義」(PiS) | 31 | -8議席 |
| 農民党(PSL) | 2 | +2議席 |
| 無所属 | 4 | +3議席 |

3. 結果概要

(1) 好調な国内経済及び安定した社会状況を理由に、PO優勢との事前予測通り、POが第一党を維持し勝利。現連立与党である農民党との安定的過半数を確保し、当地有力紙は、国民は、PiSの復権より、POの安定性を選んだものと分析。

(2) PiSは、新たな支持層獲得に至らず、POに対し敗北するも、引き続き最大野党としての政治的影響力を維持。カチンスキPiS党首の求心力も維持。

(3) SLDは苦戦し第5党に凋落し、新たに「パリコト運動」が第3党に躍進、SLDはナピエラルスキ党首の引責問題に発展する可能性。PiSから分裂した新党の「ポーランドが最も重要」(PJN)は2.2%で議席を得ることができなかった。

(4) 上院選挙は、選挙法改正による初の小選挙区制度による選挙。POが63議席を獲得して、PiS(31議席)を大きく引き離して勝利。PSLも2議席獲得、無所属が4議席獲得。

(了)